



観光分析・・・ 前回のワークショップから

えびの観光大学
2024.11.22
於：えびの市役所

前回の振り返り

- ①参加者一人一人が思い浮かべる自慢出来るところ
(観光スポットなど)
- ②グループでみんながあげた項目グループの一つを
深掘り(利点と欠点の見える化)
- ③班ごとに一泊二日の観光コース作成

自慢出来るところ

276項目

注目

参加者24名

ワークショップ4班構成

自慢出来るところ	投票数	自慢出来るところ	投票数	自慢出来るところ	投票数	自慢出来るところ	投票数
えびの高原と霧島	30	陣の池	5	吉都線	2	作家	1
白鳥	16	川内川	4	食品	2	自衛隊	1
イベント	14	道の駅	4	出水観音	2	自転車	1
矢岳高原	13	ループ橋	4	風景	2	島津義弘	1
温泉	11	飯野高校	3	真幸駅	2	宿泊	1
米	11	インターチェンジ	3	森岡城	2	植物	1
史跡	11	大河平	3	夜空	2	曾木の滝	1
人	10	グリーンパーク	3	アウトドア	1	デザート	2
郷土芸能	9	コカ・コーラ	3	アクティビティ	1	動物	1
田の神さあ	9	自然	3	雲海	1	永山公園	1
田んぼ等の風景	9	地鶏	3	王子原球場	1	方言	1
菅原神社	8	八幡が丘公園	3	気候	1	マンホール	1
飲食店	7	二日市	3	キャラ	1	野菜	1
クルソン峡	7	水	3	霧島酒造	1	アパンドの森	1
郷土料理	6	眼鏡橋	3	金屏風	1	合計	276
明石酒造	6	アウトドアステーション	3	ゲーム	1		
金松法然	5	えびの駅	2	坂本牛	1		

私たちは、観光(地・場所・もの・価値・満足性等...)について
このままでいいのでしょうか？

例えば「えびの高原と霧島」

アイススケート場	えびの高原キャンプ場
足の湯えびの高原	えびの高原紅葉
足の湯えびの高原	えびの高原樹氷
足の湯えびの高原	えびの高原星空
えびの高原	えびの高原野生動物
えびの高原	えびの高原山の日イベント
えびの高原	大浪池遊歩道
えびの高原	韓国朝日
えびの高原	韓国岳
えびの高原	韓国岳
えびの高原	韓国岳
えびの高原	韓国岳
えびの高原	霧島山えびの高原
えびの高原温泉	スケート場
えびの高原火山	すすき

えびの高原という広いエリアや韓国岳
など象徴的なものが示されているが、
これは観光エリアを指しており、この
〇〇〇などという価値が示されないと、
リピートとなっていくのかが不透明

例えば、霧島温泉で言うと宿泊があり
食事があり観光があり、何よりも「非日
常」を感じられる

では、どうあればいいのか...

**えびの高原だけでなく、エリアで
霧島温泉よりも魅惑する仕掛けが
必要でないか**

2 番目の項目・白鳥

白鳥温泉
白鳥温泉
白鳥温泉
白鳥温泉
白鳥温泉
白鳥温泉
白鳥温泉
白鳥温泉上の湯サウナ
白鳥郷土の森
白鳥神社
白鳥神社
白鳥神社
白鳥神社
白鳥神社東大寺
白鳥展望台
白鳥山山頂

次の注目ポイント

白鳥は、概ねターゲットが絞られているのでピンポイントで勧めたいところか

だとすれば、観光客の皆さんどれだけここに来られているのか？また、さらなる満足度を高めるには・・・

イベントは、観光の大きな動機付けになるが、関係者の声は結構バラバラ
一つ一つのイベントがもしかしたらインパクト不足なのかもしれない

3 番目の項目・イベント

カーフェスタ
京町温泉花火大会
京町温泉花火大会・夏祭り
京町温泉マラソン
京町温泉マラソン大会
京町銀天街ナイトフェスタ
京町二日市
京町二日市
スポーツ大会拠点
第九合唱
チャイム音楽
綱引き・十五夜
どんどん焼き
ほぜ祭り

気付き

私たちが自慢する(観光スポット)は、内なる人でもこんなに違う

少数意見も深掘りすれば、必ず光るものに(磨き)

外の人にも声を聴けば、もっと現実が見えるのでは

深掘りして、具体的戦略を明確にする

班	テーマ	メリット	デメリット
3自然	田んぼ道・都会にはない	紅葉情報が得にくい	海外からの起業希望でも通訳がいない
3自然	星空は元気を与える	プールなど水遊び場	突出したえびのの良さの売り方
3自然	歩くだけで元気になる	道の駅の駐車場不足	しらべえびの学・体験学習
3自然	矢岳の見晴らし最高	子供が遊べる施設	温泉の入れ墨問題
3自然	空気	ふらっと入れる商店や喫茶店	えびの高原の案内ガイド不足
3自然	写真映えする景色	空地や田んぼにカフェがあれば山や空を見られる	海外の人は刺青があり温泉を広められない
3自然	稲穂とトンボが日に当たってキラキラ	ゆっくりできるカフェ	えびのの良さを語る人が少ない
3自然	田舎のにおい	お酒を飲める場所	公共交通機関の脆弱・車しかない
3自然	田んぼを歩くだけで心と心身の疲れが取れる	田んぼカフェ・山カフェ＝ベンチとWi-Fiで仕事もできる	交通の不便・市内移動
3自然	黄金色の稲穂は海外にも珍しい風景	若者が来る魅力ある場所【映える】	交通手段
3自然	矢岳からの景色・コマシャルになった	観光地までの看板	二次交通
3自然	田んぼにいる大きな鳥は都会では新鮮	散歩用マップ	電車が使いにくい
3自然	川内川にはさまざまな植物があって楽しい	ネット検索でもデータ少ない	観光に行く交通手段がない
3自然	用水路の水音	PR不足・知らない人多し	えびの高原までの交通手段
3自然	田んぼ道で出会う田の神	案内看板少なし	
3自然	自生のノカイドウ	案内マップ(様々な視点)	
3自然	暴れ川の川内川	情報発信不足	
3自然	気候	スナック・カフェマップ	
3自然	米	食事場所マップ	
3自然	豊富な野菜	宿泊施設	
3自然	静かな自然の音	連泊可の宿泊場所	
3自然	人が少ないゆとり	古民家・空き家の一棟貸し	
3自然	加久藤カルデラ	人に出会いにくい・スナックに行きたい	
3自然	雨が降っても美しい	えびのに行かないと体験できない食べ物	
3自然	夕方の稲穂の色	えびの高原の川湯	
3自然	用水路と子供の遊ぶ風景	子供や若者のアイデンティティがあまりない	

観光コースの一例(前回)

ターゲット60代アクティビティ		えびのの自然と温泉満喫ツアー	
1日目	えびの高原足湯とおむすび購入	1日目	矢岳高原から霧島を見る
	SUP白紫池・・・二胡パノラマおむすび		菅原神社大鳥居
	足湯2階カフェ休憩		韓国登山
	えびの高原ホテル泊		白鳥温泉上湯
2日目	えびの高原散歩とヨガ	2日目	白鳥神社
	白鳥温泉蒸し風呂		朝の陣の池
	道の駅えびの買い物		眼鏡橋
			温泉巡り
			道の駅お土産買い物

第6回観光宮崎創生塾でのメモ

(本日の協議関する一部)

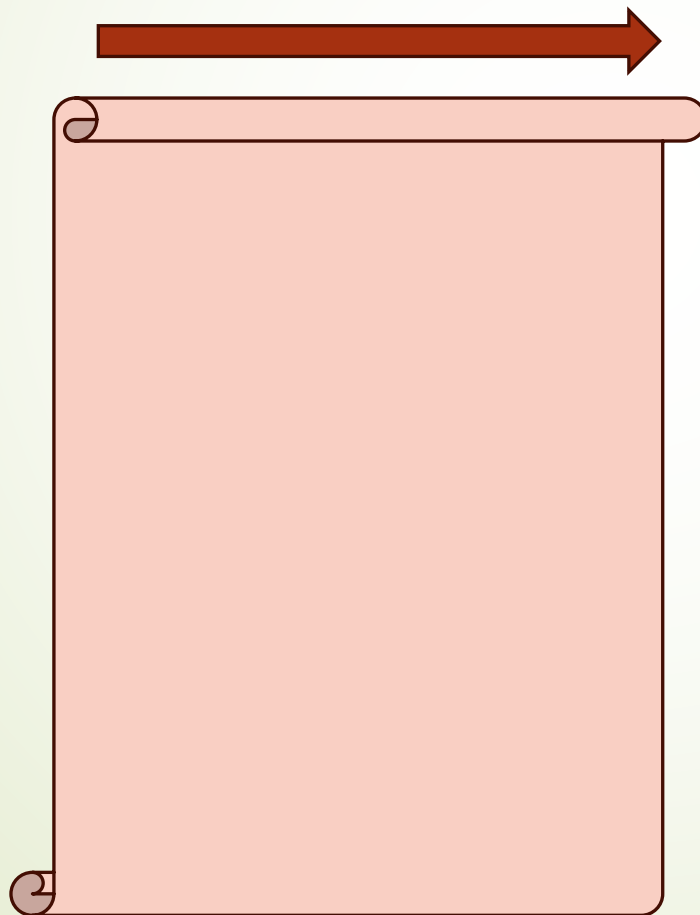
- ・観光＝地域資源を総動員した外貨獲得活動
- ・宮崎は観光資源があるものの集積力が弱い
- ・名勝でも、表の訪問だけでなく付属するスポットも併せて「物語化」して、複数回の観光でも興味深いものを作る
- ・宮崎県のファンを作りながら、絆を強くする
- ・**3回目・4回目以降のおかわり観光を作りたい**
- ・望みたいことは、見える化し計画していくことも必要

今日の議論テーマ (アーツカウンシル参考)

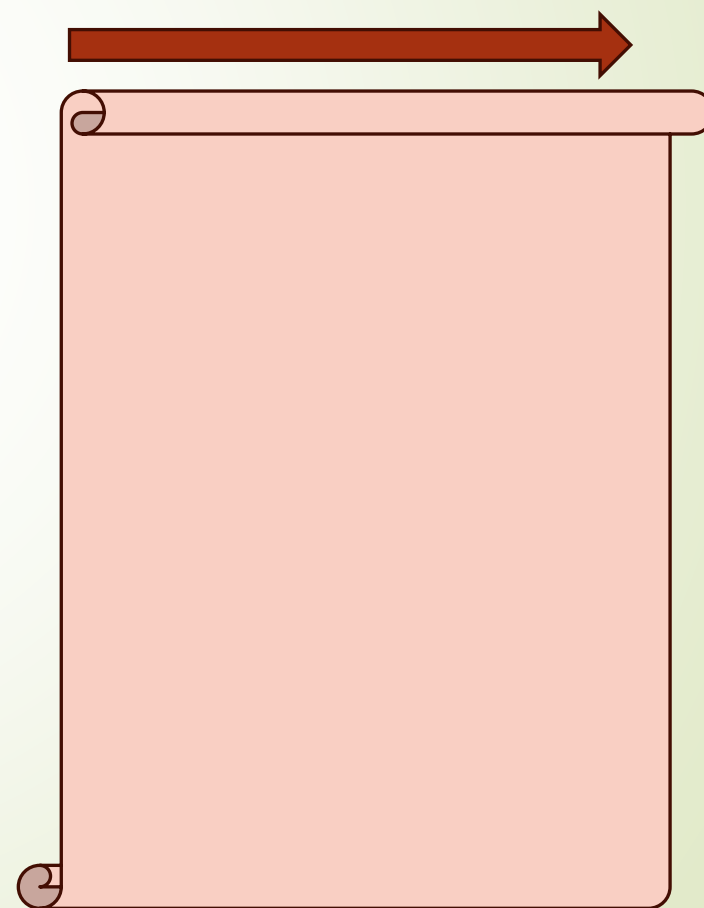
3回目・4回目おかわり観光をイメージ

課題

霧島宿泊後えびの高原



白鳥立ち寄り



えびの市へ

第6回観光宮崎創生塾でのメモ

観光＝地域資源を総動員した外貨獲得活動

モノ・サービスの流れ＝観光を通じて外貨獲得

宮崎は観光資源があるものの集積力が弱い

産地を活かして、何かを創る

えびの市はアウトドアには特出している力を持つが活かされていない

宮崎県

自然・風景・名勝・文化

名勝でも表の訪問だけでなく、付属するスポットも併せて物語化して、複数回の観光でも商い興味深いものを作る

宮崎県のファンを作りながら、絆を強くする

3回目・4回目以降のおかわり観光を作りたい

既存客×来訪回数アップ＝延べ客数・消費アップ

県外からの宿泊観光客にツウな情報を仲間と協力し面として伝える

単独ではなく関係仲間とつながって連携することで強固なものを作る

地球規模で考える

おかれた場所での課題を整理・可決する

歴史や風土への感謝・・・進化へ

肩書のない世界・人は人であること

5W1H いつ・どこで・だれが(だれと)・なにを・なぜ・どのように・・・イメージするとできる

押し合い・へし合うではなく、互いに磨きあい共に未来を歩む

アグリツーリズム・・・食と農と観光

農村の豊かな自然や文化、人々の交流を目的とした旅行スタイル

農場や農村で様々な体験や交流を楽しむ事が出来る

・ファームステイ農場体験 ・味覚狩り

地元の人と交流

新鮮な食材を使った料理

自らで収穫した食材を食べる

メリット・・・本業以外の収入・魅力を知ってもらうことで本業の収益アップ

宮崎県は断然交通脆弱なので、インバウンドをどう呼び込むかが課題

直行できない交通事情の中、乗り継ぎで相当時間がかかるが、その間の乗り継ぎでの楽しみ方なども加えることで、長時間の旅の楽しみを付加させることが重要

長期滞在の方に対してチェックアウトでなく、拠点旅行してもらうために「リザーブ宿泊」制度を採り入れたら長期滞在が可能になるのではないかと望みたいことは、見える化し計画していくことも必要